



お話の学習指導案



教育目標

題名

・ 水いつてきて、つぼをみたすように (ジョイク)

年齢

・ 児童(6~9歳)

主題

- ・ 目標: お金もちになりたかったおいのとりよくとジョイクのちえをまなぶ。
- ・ 主題: とりよく

キーワード

・ とりよく, ジョイク, つぼ, つるべ, いど, さとり

韓国文化

- ・ 目標: お話をきいて、韓国語 (かんこくご) のことわざにきょうみをもつ。
- ・ 要素: だいかんみんこく (大韓民国) のことわざ 【焼け (やけ) 石に水/ちり (塵) もつもれば、山となる】

韓国語

- ・ 目標: たのしくお話をきいて、だいかんみんこく (大韓民国) のかぞくのよびなをしらべてみる。
- ・ 単語: 삼촌 (おじさん)、조카 (おい)、할아버지 (おじいさん)、외할머니 (ははかたのおばあさん)、이모 (ははかたのおばさん)、고모 (ちちかたのおばさん)、사촌 (おじさん)
- ・ 表現:
삼촌의 집으로 조카가 찾아왔어요.
(おじさんのいえに、おいがたずねてきました。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、タイトル、さっさと出てこい！

“水いってきで、つぼをみたすように（ジョイク）”です。

みなさん、‘つるべなわ’を見たことがありますか？つるべなわ（縄）は、いどから水をくむときにつかわれるとうぐですが、かごのような見た目です。さいきんは、すいどうのじゃぐちをまわすと水がざあざあでてきますが、むかしは、いどからつるべでみずをなんどもくまなければなりませんでした。しかし、つるべでみずくみをしていて、おおがねをえるほうほう（方法）にきづいた人がいたそうです。どんなお話か、きになるでしょう？



お話の始まりの歌を歌う

“水いってきで、つぼをみたすように（ジョイク）”のお話の中へしゅっぱつ！

♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？

いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、ちょうせんじだいに、ジョイクというぶんかんがすんでいました。まじめでせいじつなジョイクは、とてもたかいかんしょく（官職）をもっていました。そうしたある日、ジョイクのいえに、おいがたずねてきました。

“わたしにお金をたくさんかせげるほうほう（方法）をおしえてください。”

ジョイクはおいをじっとみました。じつは、おいはいつもまずしかったのです。ずるがしこいだけで、まったくはたらこうとしなかったからです。ジョイクは、そんなおいがのりきになることばをいいました。

“大金をかせぐほうほう（方法）があるんだけど。”

ジョイクのことばに、おいは目がきらきらしました。

“すぐにおしえてください。”

ジョイクはついてこいと、てまねきしました。おいはとてもきたいしながら、ついていきました。にわのいどばたへいったジョイクは、つぼ一つをゆびさしていいました。

“じゃあ、このつぼに水をたくさんためたら、そのほうほう（方法）をおしえてあげよう。”

おいはすぐに、つるべをさがしました。そしていいました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“ああ、すぐにおわりますよ!”

おいはいっしょうけんめいにつるべで水をひきあげて、つぼにためました。しかし、いつまでたっても、つぼに水がたまりませんでした。おかしいとおもったジョイクは、やっとなつぼの中をのぞいて見ました。

“いや、これはなんだ!つぼのそこにあながあいているじゃないか!”

おいはあたまのさきまでいかりがこみあげて、ジョイクにといただきました。

“ほんとうにひどいです!どうして、そこにひびがはいったつぼに水を入れるといったのですか!”

しかし、ジョイクはただ、ほほとわらって、なにもなかったようにへんじをしました。

“あ、そうだったのか?よし、そしたらあしたもういちどきなさい。そのときにまた、おしえてあげるよ。”

おいはそんなジョイクのようすに、とてもとまどいました。しかし、あしたもういちどおしえてくれるということばをきいて、ぐっとなんしていえにかえりました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

そのつぎの日、おいはあさはやくに、ジョイクをたずねてきました。ジョイクはおいをもういちど、いどばたにつれていきました。

“あのつぼにもういちど、水をためたら、金もちになるほうほう（方法）をかならずおしえてあげるよ。”

おいはこんかいは、さいしょにつぼをこまかくしらべました。さいわい、つぼはひびがはいったところがなく、いじょうがありませんでした。やっとおいはうなずいて、へんじをしました。

“こんかいはかならずやくそくをまもってくださいね。つぼに水をたくさんためたら、お金をかせぐほうほう（方法）をおしえないとだめですよ!”

ジョイクはまたなにもなかったように、からからとわらってうなずきました。

おいはもういちどつるべで水をくんで、つぼに水をためようとしてしました。お金もちになることをかんがえていると、はなうたがかってに出てきました。しかし、今回もつぼには水がたまりませんでした。

“いや!これはなんだ?”

今回は、つるべのそこに、大きなあながあいていました。あなから水がたらたらともれていました。つぼにすぐ水をためようとする、なんてきか、ぽたぽたとおちてきました。どれだけはやく上げてもだめでした。おいはとても

口演 活動内容



お話を聞かせる

あたまにきて、からだがぶるぶるとふるえだしました。

“わたしをほんとうにばかにしているのか、なんなんだよ!どうやってこんなつるべで、つぼに水をためられるのか!”

おいはすぐにいえにかえろうとしました。しかし、このままかえったら、お金もちになるほうほう（方法）をいつまでも知らないままでいるようでした。また、今までどりよくしたことも、なんにもならないこともざんねんでした。

“よし、もういちどやってみよう!”

おいはやすまないで、あながあいたつるべで水をくんで、ひき上げました。すうてきしかないけれど、いっしょうけんめいにつぼにうつして、ためました。わずかな水でつぼをためるのはかんたんではありませんでした。手にまめができて、あかくなり、ぶくぶくとはれてきました。てあしはもちろん、かたもいたみました。

“はあ、いつになったらいっぱいたまるのか。”

ずっとためいきをつきながらも、手はやすめませんでした。しかし、ふしぎなことにも、ずっとつづけていると、つぼに水がすこしずつたまりはじめました。それを見ると、からだがいたいのもわすれて、だんだんおもしろくなってきました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“いいぞ、もうすこしいれば、つぼがいっぱいにみたされるな!”

おいはすべてのちからをそそいで、つるべをひき上げました。からだじゅうがあせでいっぱいになったこともきづかずに、いつの間にか、日がくれることも気づかずにです。

“やった! ついに水がまんぱいになった!”

どうやってもたまらないようなつぼが、水でいっぱいになりました。おいはうれしくてにこにこしたかおで、わらいました。

“おい、おまえ! どうなったんだ?”

そのとき、やっとジョイクがいどばたにやってきました。おいはまっていたかのように、ジョイクにたずねました。

“見てください! つぼの水がいっぱいですよ。じゃあ、やくそくどおり、金もちになるほうほう(方法)をおしえてください!”

ジョイクはおいをじっと見て、ほほえみました。

“ほんとうにおつかれさまだった。しかし、きみはもうそのほうほう(方法)をしっているんだ。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

おいはぽかーんとしたかおで、ジョイクをみつめました。

“はい？いつおしえてくれたんですか？”

ジョイクはしずかに、いどばたのつぼをゆびさしました。おいはあっけにとられて、つぼをしばらくみつめました。そして、わかったというようにおおごえでわらい、いいました。

“ははは！はい、そのほうほう（方法）がわかりました。”

ジョイクもほこらしげにうなずきました。

“まさにきみがおもっているとおりだ。小さいすいてきをいっしょうけんめいにあつめて、つぼをみたしたように、小さいこともまじめにいっしょうけんめいすれば、大きなことをたっせいできるのだ。それがまさに、わたしがしているお金をたくさんかせぐほうほう（方法）だよ。”

おいはけっしんしたように、ジョイク手をつかみました。

“はい、今日はどりよくしてなにかをえれば、とてもうれしいことにきづきました。これからは、わたしのちからでまじめに生きていきます！”

ジョイクのかしこいおしえのおかげで、おいはそのあとも、もっといっしょうけんめいにはたらいて、ほんとうに大金もちになったそうです。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？

二日目、おいがいどで水をひきあげてつぼに水をためようとしていると、つるべがどうなっていましたか？そうですね。つるべのそこにあながあいていました。だから、水をひき上げて、いってき、にてきとすこしずつしかつぼにたまりませんでした。しかし、いってきの水もずっとあつめれば、つぼを水でいっぱいにすることができましたね。このように、小さいどりよくをつづけると、大きいことをやりとげられます。

みなさん、おいがつぼに水をためられなかったりゆうはなんですか？

そうですね。つぼのそこにひびが入っていたからです。だからどれだけ水を入れても、つぼに水をためられませんでした。このように、どんなにくるしんでもしかたがないということわざを‘そこぬけのかめ(甕)に水をそそぐ’といいます。ここで‘かめ’はつぼですね。二日目はどうでしたか？いってきずつ、ずっとあつめて、つぼをいっぱいにしましたね？どんなに小さいものでもあつめれば、あとから大きなものになるということわざで、‘ちり(塵)がつもれば、山となる’があります。ことわざをもっとしりたいおともだちは、‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと“水いってきで、つぼをみたすように（ジョイク）”のお話をいちどまとめてみましょうか？

大金をかせぎたかったおいは、おじさんのジョイクのおしえのとおり、さいごまであきらめませんでした。水いってきでつぼをいっぱいにしたように、ずっととりよくすれば、大きなけっかをえることができますね。みなさんもしたいことがあればあきらめずに、小さなことからすこしずつとりよくする人になってください。おばあちゃんがおうえんしますよ！



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

月 いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？

いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。

さようなら！